



Healthcare Digital



第19回日本医療マネジメント学会学術総会
ランチョンセミナー 9

医療におけるICT: 人・モノ・情報を「つなぎ、活かす」ためのツールと活用事例 ～「地域を守る あたたかな医療」のテーマとともに

日時 ▶ 2017年7月7日(金) 12:00～13:00

会場 ▶ 仙台国際センター J会場 展示棟「会議室2」

演者

松葉 香子 GEヘルスケア・ジャパン株式会社
ヘルスケア・デジタル事業本部 本部長

ゲストスピーカー

清水 由香 インテル株式会社
ビジネス・デベロップメント・グループ パブリック・セクター事業部
ヘルスケア・ライフサイエンス 事業開発担当部長

ご参加には整理券(無料)が必要です。

配布場所 / 仙台国際センター展示棟 展示室1 配布時間 / 7月7日(金) 8:00～11:30

※整理券はセミナー開始後5分で無効となります。

共催：第19回日本医療マネジメント学会学術総会
GEヘルスケア・ジャパン株式会社

Imagination at work



演者

松葉 香子 GEヘルスケア・ジャパン株式会社
ヘルスケア・デジタル事業本部 本部長

ゲストスピーカー

清水 由香 インテル株式会社
ビジネス・デベロップメント・グループ パブリック・セクター事業部
ヘルスケア・ライフサイエンス 事業開発担当部長

ランチョンセミナー概要

医療介護における「2025年問題」が現実感を伴い近づいてくるなか、各医療機関からの知見・リーダーシップはもとより政府、地方自治体の指針や支援を踏まえ「医療介護総合確保推進法」に基づく地域医療(都道府県)計画がほぼ出揃ってきた(2017年3月現在)。

これら計画の実行、また2018年度からの第7次医療計画に向けても、各地において医療リソースの適正配置を進めながらも生活習慣病への対応、予防医療の推進から急性期ケアの後方連携まで、取り組むべき課題は多岐にわたる。

さらに「保健医療2035」においても提唱されているとおり、こうした課題を認識しつつ日本全体として「健康先進国」へ向かうための方策準備も始められている。

一方で個別の医療機関に目を向けると、地域医療への貢献を継続しながらこれまでも増して自律的な経営強化が求められているというのが大方の感触ではないだろうか。

例えばリソース(人材、機器等)の配置運営について投資対効果への検証密度が上がり、より精緻化・可視化された情報へのニーズが高まっており、同様に診療精度、業務効率の向上についても従前とは異なる方法も用いて取り組むことが期待されていると思料する。

これらの活動において一貫して言及されるいわば“必携要素”の一つが「情報基盤の整備と活用」であり、医療分野におけるICTを如何に生活者・患者へ寄与する形で活用するか、具体的な議論や実装事例が進展している。

本講演では、院内外で発生する各種データを安全に、必要な範囲で医療従事者が連携共有できる形で蓄積すること、またそれらのデータを分析し得られた運営指標などの示唆を医療運営の継続改善に活かすこと、もしくは「データヘルス」のような地域・個人特性を反映した医療の在り方の探索、さらに、「AI活用」による医療従事者の負担軽減や特定領域における経験値もしくは地域ごとの医療者偏在への対策まで、データマネジメントの基盤から最適化の流れを本邦および海外におけるICTツールの活用事例を紹介しながら考察する。

JB49803JA

Your Valuable
Data Creates Your Future.

あなたのデータが切り拓く患者様の未来。

あなたのデータが切り拓く患者様の未来とは？

見たいデータに
すぐアクセスできますか？データ移行の問題で
他社システムへの更新を
あきらめていませんか？増え続ける
データへの対策は？数多くのサーバの
管理は大変では
ないですか？データは安全に
管理されていますか？DATA
Management
For Futureデータの可視化、解析による診療業務の
効率化や未来戦略とは？

データ可視化

読影支援

画像解析による診療品質の向上